

プロジェクト科目 議事録

2006 年 6 月 19 日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 H	学生 ID -
日時	2006 年 6 月 16 日 (金) 15 : 00 ~ 19 : 45
場所	寧静館 501
議題	観世流能楽師 a との企画会議
参加者	A、B、C、D、E、F、G、H、I、T、TA ゲスト 観世流能楽師 a
<p>記録</p> <p>1・質問内容について</p> <p>観世流能楽師 a が 15 時 30 分ごろに教室に来ることになっていたのが最初の 30 分間は質問内容の確認が行われた。能楽師との企画会議が初めてということもあって固く考えていたが、T が「気楽に聞こう」とアドバイス。皆の緊張が解ける。</p> <p>2・観世流能楽師 a との企画会議</p> <p>15 時 40 分観世流能楽師 a 到着。ワークショップ（以下 WS）に関する話し合いが行われた。</p> <p>《主な質問と返答》</p> <p>・ コンセプトについて</p> <p>観世流能楽師 a が「本格的に教えるのか?」、それとも「いっぺんやってみる?」といった軽い感じなのか質問。さらに、「本格的に教える」のは一日では無理、「いっぺんやってみる」形だと、児童たちに何か残せるのか?といきなり核心をつく。</p> <p>それに対し、A が「WS をきっかけに次につなげる」と返答、C が「年間を通じて能に関する知識、興味を持たせたい」と答える。</p> <p>D が「能楽教室では、どのような話をしているのか?」と質問。</p> <p>観世流能楽師 a が「能を身近に感じてもらうよう話を持っていく」、「児童が興味をもつ話をする」と答える。</p> <p>D が「児童は一回の説明で納得するか?」とさらに質問。それに対して「したり、しなかつたり」との返答。また、児童に教えるときは「身近に、なんとなく残る見せ方を」をコンセプトにしていると答える。</p>	

Dの「実際に残るのか？」の質問には、「わからない。答えが出るのは30～40年後？」と答え「難しい話をしない」、「話にメリハリをつける」その繰り返しが重要、と答える。他に、「丁寧にするほど児童の集中力が持たない」とアドバイスする。

・保護者について

Aが「保護者はどのようなものを望んでいるのか？」と質問。

観世流能楽師 a は「能楽教室では、保護者も初めて見に来たという感じ」、「保護者もそれほど知識がない」と返答。

ここで、児童には浴衣で参加してもらうことについて、「児童が動きにくい」「浴衣で遊んでしまう」との理由から「浴衣参加はやめたほうがよいのでは」と忠告された。

・企画について

Aが企画について話した。企画の内容については、型・太鼓・謡・読み聞かせ・装束については可能。PCゲームに関しては一番難しいと答えた。それに加え、児童は用意してあるから見においでと言っても来ないので、誰かが誘導する必要があると答えた。

・型のブースについて

Dが「2時間で足りるか？」と質問すると観世流能楽師 a は「もっと短くていい」と答え、「25分では飽きるので10分間を2回やったほうが身につく」、「流派による違いを理解させるのは不可能」と付け加えた。

・太鼓、謡について

太鼓は一度に指導できるのは6人まで、謡は詞章を書いた紙を見せて指導するのがよい、とアドバイスされた。

・観世流能楽師 a の提案

型・3人、太鼓・6人、謡・11人を1グループとして、3回に分けて指導、最後に合同発表するのはどうかと提案。

・事前学習について

観世流能楽師 a によると「謡の演目はWSに使われる演目がよい」

Gが「事前学習として私たちにできることはあるか？」。

観世流能楽師 a は、1. 本で勉強したことをわかりやすく伝える、2. 謡の解説をして口ずさむ、といったことがWSにつながると返答。

最後に「企画の目的と目標をくわしく提示してくれるとやりやすい」と要望。

16時45分観世流能楽師 a が退出。

3・タスク表作成

Bがタスク表を配布し、WSまでにやらなければいけないことを説明。それをもとにそれぞれの役職のタスクが決定した（詳しくは初期タスク表参照）。

4・昼休み会議の位置づけ

今週、昼休み会議でいくつか重要な事項が決定したことの問題点についてDが指摘、改めて昼休み会議の位置づけについて話し合われた。その結果

- ・原則、金曜日の授業で重要事項は決定する
- ・月曜日は一週間のスケジュールの決定
- ・金曜日は一週間のまとめ
- ・火・水・木は、自由参加のランチタイムミーティングにする

以上のことが確認された。

5・来週のスケジュール

来週中に企画書を完成させたいので、そのためのスケジュールを組んだ。

月：観世流能楽師 a の提案をふまえた意見交換（2限から）

金（昼）：月曜日の続き

金（授業）：企画書を完成させる

6・その他

個人的な事情により、リーダーの I が能プロを辞めることになった。後任のリーダーを決めるべく話し合った結果、Aがリーダーに就任することが決定した。

小学校に送信したメールが宛先不明で戻ってきたため、Tが電話で連絡先を確認、参観日程を問い合わせた。その結果、来週の参観は無理だが再来週の月・火は参観可能とのこと。

【タスクについて】

- ・今回のタスク表の更新はDが担当する
- ・議事録作成はHが担当する
- ・今週の活動に関しては各自報告すること